



▲アゼリア通りと 検出された五条大路の側溝(上が北) \*写真は平成14年3月に撮影

長岡京市役所から文化センターに至る東西道路は交通量も多く、「アゼリア通り」と愛称されている市の幹線道路です。古くから利用されてきたこの道が、実は「長岡京」の条坊道路の一つであることはご存じでしょうか。

今年で50年目にあたる長岡京の調査は、故中山修一さんが提示された条坊復原図の検証の歴史でもあります。これまで数多くの調査によって都の条坊地割りが解明され、より正確な復原案へと定められてきました。

平成4年に改訂した現在の復原図を見ると、アゼリア通りは五条大路の痕跡であることがわかります。

五条大路の位置は、上に示した2回の調査で北側溝と南側溝が確認されていることからわかります。道路幅は24メートルであることが、この賑わった当地域でも確認されました。

現在の道路幅は、7メートルの2車線道路で、歩道を入れても10メートル弱ですから、かつての五条大路の路面の中に、現在のアゼリア通りがあるわけです。

道路側溝のそれぞれ宅地域側では、掘立柱建物や井戸などが検出されており、現在よりはゆったりとした宅地域であったようです。

このように東西の五条大路は今に道路として継承されていますが、これに交差する南北の通りは依存していません。長岡京以降は「開田」としての歴史をも刻んでいるためです。